

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成28年度第1回情報セキュリティ研究講習会運営委員会議事記録

- I. 日 時：平成28年4月21日(木) 15:00 から 17:00
- II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局会議室
- III. 参加者：浜委員長、入澤委員、根本先生、東委員、服部委員、岡部委員、西松委員、  
柴田委員、市川アドバイザー  
(事務局) 井端事務局長、野本(記)

IV. 検討事項

今年は、教育・研究活動情報及び教職員のマイナンバー情報を含む情報資産や金融資産に対するサイバー攻撃の脅威を周知して防御行動が組織的に展開されるよう、全学的な取り組みについてベンチマークによる課題の洗い出しと対応策を参加大学間で研究・協議ことを目的に大学情報セキュリティ研究講習会を開催することになっている。そのため以下のような意見交換が行われた。

(1) 開催時期等

- ・ 開催日程は、8月23日、24日の2日間で検討することにした。
- ・ 開催時間は、参加者の移動と講習時間を考慮して、1日目10:30～17:00、2日目9:30～16:30で設定することにした。
- ・ 場所は、委員校の中で相談することにした。

(2) 開催概要に向けての意見

- ・ 27年に大学でのセキュリティ関連の事件・事故が27件程度、紛失を含めおこっていたことが紹介された。
- ・ 昨年の標的型攻撃についての手口は、ばら撒き型が多くなっている傾向がある。
- ・ 大学で困っていることとして、ランサムウェアで業務不能になり、共有にも感染し問題が大きくなっており現状があり、利用者教育がより重要視される。
- ・ 全体会などから持ち帰れるものが提供できないか。自大学の研修会や会議で説明する材料が希望されているのではないか。どのようなものを備えとして整備する必要があるのか。
- ・ ベンチマークテストにもとづく点検と評価基準について、ベンチマークの内容を全体会で説明することとしてはどうか。加盟校で事前にテストを実施して結果を講習会で利用することとしてはどうか。また、経営層へは、理事長学長等会議の報告事項の中で、ベンチマークについて5分程度説明を行うことも考えられる。
- ・ 経営層では、どのようなリスクがあるのかイメージできていないことが感じられ、諜報活動から情報を抜かれている被害の現状を説明すると理解がみられることがあった。
- ・ ベンチマークテスト結果から、自大学の対策がどの位置にあるのかを確認することとしてはどうか。
- ・ インシデントのケースによりどのようなことになるのか、大学のリスクを提示することで問題意識の必要性を訴えかけてはどうか。また、どのように大学全体に問題意識を周知徹底することができるのか考えさせてはどうか。

### (3) 各コース内容についての意見

- ・ マネジメントコースは、情報漏洩時の対応やベンチマークテストの結果から組織的な啓蒙などを検討してはどうか。
- ・ 総合演習では、ベンチマークを活用した対策の実施手順に踏み込めないか。ベンチマーク結果の平均校を想定して、現状の不足分を対策する松竹梅のパターンが考えられないか。時間枠を広げたことでテクニカル・マネジメント相互の対応が検討できるのではないか。
- ・ 例えば、行動のチェックリストなど検討させてはどうか。
- ・ 当事者に意識させるには、どのような手段があるのか、どこにリスクがあるのか、どういうことがリスクなのかを浸透させる必要があり、社会的責任を理解させる必要がある。
- ・ ユーザや経営層に向けてどのような取り組みが必要なのか、それぞれの立場でどのようなことを留意させるのか、議論させ持ち帰れるコンテンツができないか。
- ・ 社会の現状に合わせてコース名を変更してはどうか、CSIRT や SOC などを直接用いた方が理解されやすいのではないか。
- ・ 総合演習は、インシデントレスポンス演習を前半として、後半としての午後は議論させてはどうか。

### (4) サイバー攻撃対策に関する補助金要望について

- ・ セキュリティの問題を大学に根付かせる必要があり、人・物・金の観点から私学として補助金を要望したいと考え、セキュリティが避けて通れない問題として大学執行部に理解してもらえるのではないか。
- ・ 各大学のセキュリティ対策経費及び企業からの対策機器・サービス提案から大学で求められるサイバー攻撃対策にかかる機材・ソフトなどが検討された。
- ・ 補助金の要望に向けては、不正な動作の監視に対するものが考えられるが、現状で大学に必須である整備として訴えるには材料が十分でないことから今回は様子を見ることにした。

## V. 次回のスケジュール

- ・ 次回の委員会は、5月19日(木)に開催し、開催要項の概要を検討することになっている。